

# 第一章

## 序論

### 1.1 背景

コンピュータ技術の発展に伴い、様々なアニメ、ゲーム、漫画とインターネットが現れ始めた。このようなポップカルチャーは若者に高いレベルで消費主義者になってきた。ユニークや美しいファッションは様々なアニメのキャラクターで意図的に設計され始め。これらが、若者のファッションに影響を与える。この若者は、ファッションを通じて彼女たちのアイデンティティを強調するために、異なるサブカルチャーを形成し始めている。そのため、1970年の初めに多くの若い女性がそのファッションを強調して、自分自身が日本人のサブカルチャーの一つだと考えている。彼女たちは「ギャル」と知られていて、女の子という意味もする。年々、ギャルのルックスも常に変化し、彼女たちの使っている用語も変化した。例えば、ガングロ「ガン-ギャル」と言うことは、女の子が顔を黒く化粧し、ブロンドの髪とトレンドイなファッションをしている。ヤマンバ-ギャルと言うことは、隠者として生きているように白いアイシャドウや浅黒い肌や白髪などで老婦人と呼ばれていた。マゴ-ギャルと言うことはまだ中学生のギャルである。それから、コ-ギャルである。コ-ギャルは若い女性のサブカルチャーとして1990年に現れた。コギャルのファッションは制服船員、ルーズソックス、メイクアップ、ボディ付属品、携帯電話である。(Teenage Culture, 2005).

野村(1997)は、日本は性産業のため社会に悪いイメージで知られている国と言っていた。日本では道路に沿ってデートクラブやセックスク

ラブを広告するポスターが多い。それは、否定できない。電車の中にも、雑誌に載っているポルノ写真を見た男性が多い。

それでも現代は、女性の地位が社会に改善されるようになった。しかし、古代に女性に対する男性支配の残りは、まだ社会に埋め込む。これは、様々な日本企業においてセクハラから証明できる。その上、援助交際という言葉が出て来た。援助交際は金銭や高価な贈り物をもらうために年上の男性と付合って 14 から 18 歳までの女子学生の運動である。  
(“Land of the Rising Pervert?": A response to Karen Hill Anton's *Japan Times* essay,1997)

## 1.2 問題提起

1. コギャルの分類は何か？
2. 消費主義者に関係するコギャルのファッションはどうか？
3. コギャルの仕事として援助交際の定義と動機はどうか？

## 1.3 目的

1. コギャルの分類を考察する。
2. 消費主義者に関係するコギャルのファッションをもっと知る。
3. コギャルの仕事として援助交際の定義と動機を明らかにする。